

## 特定プログラム説明書

開設学部等名〔ダイバーシティ&amp;インクルージョン推進機構 ダイバーシティ研究センター〕

プログラムの名称	(和文) ダイバーシティ特定プログラム
	(英文) Diversity & Inclusion Program
<b>1. 概要</b> <p>社会には多様な人々が存在する。彼らはさまざまな点でたがいに異なっているが、そこにある差異とは、性別や年齢、障がいの程度といった、表層的なものだけではない。成育環境、職業、専門性、セクシュアリティ、政治的な信条など、ある程度知りあってみて明らかになるような差異もある。このように多様な人々が存在している状態を「ダイバーシティ」と呼ぶ。</p> <p>現在、社会では、差異から生じる差別や対立をなくす努力が続けられている。しかし、差異や多様性は、むしろ社会を活性化し、あらたな価値を創造することにもつながりうる。そこでは、それぞれ異なる人々が個性を發揮し、高次の調和が実現されるだろう。このような状態を「インクルージョン」と呼ぶ。</p> <p>本特定プログラムでは、さまざまに異なる一人ひとりが生きやすい「インクルーシブ」な社会を構築するための方法を学ぶ。研究が比較的進んでいる三つの差異の領域①ジェンダーとセクシュアリティ、②障がいと病いと老い、③民族と文化、を設定し、それぞれの差異と差別の構造や歴史を学ぶ。さらに、多様な立場と利害がときに対立するなかで、人々が尊重しあい、ともに繁栄できるような社会を実現する方法を学ぶ。</p>	
<b>2. 到達目標</b> <ul style="list-style-type: none"><li>ダイバーシティとインクルージョンの基礎的な考えを理解する</li><li>一つ以上の差異の領域について、差異の構造を理解する</li><li>多様な人々が生きやすい「インクルーシブ」な社会を実現する方法について、自分なりの視座を獲得する</li></ul>	
<b>3. 登録時期</b> <p>2年次前期をプログラムへの登録開始時期とする。なお、プログラムを登録する前に修得した授業科目の単位を修了要件単位に算入することができる。</p>	
<b>4. 登録要件</b> <p>履修計画説明書（学習目標と履修計画を含む）を提出すること。プログラム担当教員会で内容不十分と判断された場合は登録を認めない。</p>	
<b>5. 受入上限数</b> <p>受け入れ上限数は、20名程度とする。希望者が多数の場合には、履修計画説明書の内容により、プログラム担当教員会が受け入れ可否を判断する。</p>	
<b>6. 授業科目</b> <p>※授業科目は、別紙の履修表を参照すること。 ※授業内容は、各年度に公開されるシラバスを参照すること。</p>	
<b>7. 修了要件</b> <p>「ダイバーシティ概論（2単位）」および「ダイバーシティ演習（1単位）」は必修とし、別紙履修表に記載された選択科目から8単位以上履修し、合計11単位以上を取得すること。選択科目は、「A.ダイバーシティを考える科目群」の中から1科目以上、「B.領域別科目群」の①②③いずれか一つの領域を選択し、領域内の3つの分野それぞれから1科目以上を履修すること。なお、選択科目について、上記条件によらず自由に選択</p>	

(自主編成)することも可能とするが、履修計画説明書に自主編成とする理由と目的を詳述すること。

#### 8. 責任体制

ダイバーシティ&インクルージョン推進機構ダイバーシティ研究センター長大池真知子教授を責任者とし、ダイバーシティ研究センターの櫻井里穂准教授ならびに北梶陽子准教授の3名でプログラム担当教員会を構成する。

#### 9. 既修得単位等の認定単位数等

##### (1) 他大学等における既修得単位等の認定単位数等

既修得単位等の認定は行わない。

##### (2) 広島大学における既修得単位(科目等履修生として修得した単位を含む。)の認定単位数等

既修得単位等の認定は行わない。

#### **【特定プログラム履修に関する注意事項】**

○主専攻プログラムの授業時間割の関係で、登録した特定プログラムの授業科目履修が制限されることがある。

○特定プログラムで開設されている授業科目も、本学共通の平均評価点(GPA)の計算対象に含まれる。